

**PANTONE®**  
**カラーマネージャー**  
**使用説明書**

**PANTONE®**

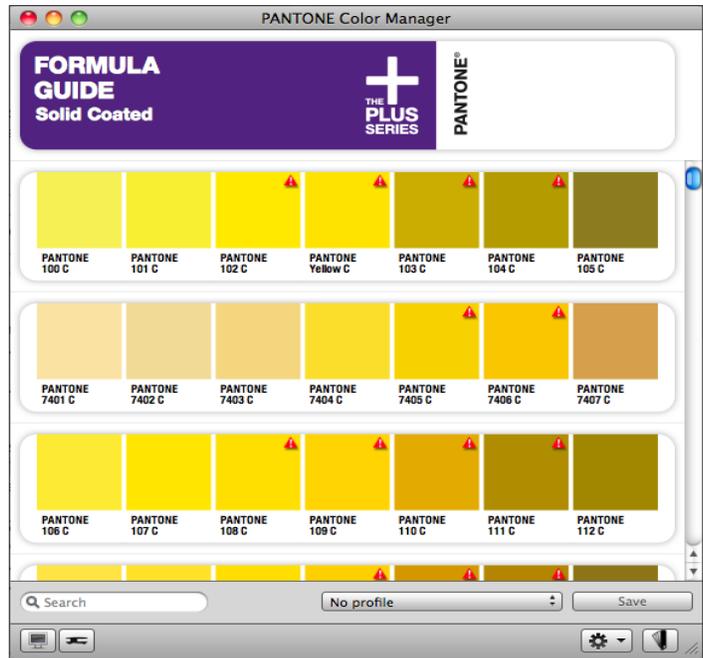
PANTONEカラーマネージャー	3
機能	4
カラーマネージャーのインストール	4
カラーマネージャーを別のコンピュータでアクティベーションするには	5
カラーマネージャーの基本ワークフロー	6
パレットを扱うには	7
パレットの選択	7
PANTONE ガイド	7
ブリッジされた色見本	8
マイパレット	8
パレットの表示	9
カラー詳細を表示	9
パレットのブリッジ	10
パレットをアプリケーションに書き出すには	11
CMYKを myPANTONE2.0 書き出す	12
スタイルガイドに書き出し	13
色の検索	14
カラーマネージャーの設定	15
照明条件を選択	15
ブリッジのスプリットカラーを表示	16
警告	16
ディスプレイ情報を表示するには	18
ディスプレイのプロファイル作成	18
iPhone® のキャリブレーション	19
測色計	19
測定条件	19
パレットの作成および共有	21
新規パレットの作成	21
画像からパレットを作成	22
測定器で色を追加するには	23
CAPSURE装置を使用して色を追加	24
カスタムパレットに対する測色	24
複数色のサンプルをカスタムパレットに測定	25
ヘルプ、モバイルアプリケーション、PANTONEにアクセスするには	26

## PANTONE カラーマネージャー

PANTONE カラーマネージャーは、ICC プロファイルを選択し PANTONE カラーが使用機器にどのように出力されるかを決定する、Mac および PC 対象のアプリケーションです。PANTONE カラーブリッジ®では、スポットカラーを PANTONE プロセス（CMYK 印刷）でシミュレーションすることを目的とした製品ですが、本デジタルバージョンでは、さらに特定のプロファイル、アプリケーション、機器にカスタマイズすることが可能のため、PANTONE カラーを最も正確に再現することができます。

カラーマネージャーでは ICC プロファイルを使用したカラー管理されたユーザー独自の PANTONE カラーライブラリを作成できます。またユーザー独自の画像や写真からカスタム PANTONE パレットを作成することも可能です。

デザインおよびページレイアウト用ソフトウェアで使用、またはEメールで送信するために、ライブラリの同期処理を行うことができます。さらにカラーマネージャーは、PANTONE プラスシリーズの新規色を含む 9000 色以上の PANTONE ライブラリを自動的にアップデートし、QuarkXPress®、Corel®、Adobe® Creative Suite® のデザインプログラムに使用することができます。



## 機能

- PANTONE カラーライブラリを自動的にアップデートし、最新の状態に維持します。
- PANTONE プラス カラーブリッジの値を表示します。
- ICC プロファイルベースの入出力機器に依存する特定の RGB、CMYK、CMYK + (n) 値を、PANTONE ライブラリに対して作成します。
- スポット対プロセスカラーをビジュアルで比較表示し、ディスプレイおよび印刷再現色警告でターゲットの出力機器に正しく印刷されない色、またはモニタに正しく表示されない色をガイドします。
- スポットカラー値をデザインアプリケーション向けに同期します。
- 機器に依存する値を myPANTONE™ iPhone® アプリケーション向けに同期します。
- 画像から抽出されたカラーに最も近い PANTONE® カラーを検索します。
- スタイルガイドの生成機能は、カラーパレットを構成および共有します。
- iPhone ディスプレイの測定およびキャリブレーションを行い、PANTONE カラーのより正確な色再現を実現します。（iPhone には myPANTONE™ 2.0、および Color Munki、i1Pro、i1Display 2 などのキャリブレーション用機器が必要です。）
- i1Pro または ColorMunki で環境光をカスタム測定します。

## カラーマネージャーのインストール

カラーマネージャーをインストールするには、下記のステップを実行してください。

Mac：ダウンロードされた圧縮ファイルをダブルクリックし、インストールパッケージを抽出します。インストーラをクリックし、インストール手順を完了します。

PC：実行ファイルをダブルクリックし、インストール手順を完了します。

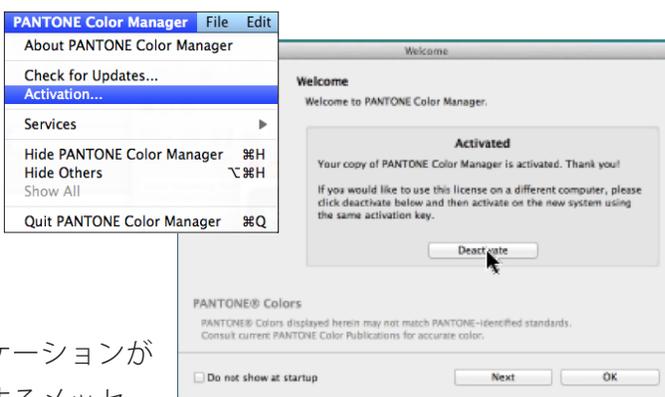
また PANTONE カラーマネージャーは、インストールされた後、Pantone 社からのソフトウェアアップデートを自動的に通知します。

## カラーマネージャーを別のコンピュータでアクティベーションするには

この手順は、PANTONE 色見本、CD、E メール、ウェブページから PANTONE カラーマネージャーのライセンスコードを受け取った場合のみに適用します。PANTONE カラーマネージャーのアプリケーションを購入された、または i1Profiler ドングルや装置でソフトウェアにアクセスされる場合は、アクティベーションキーが事前に登録されているため、PANTONE ウェブサイトで製品登録をする必要はありません。この手順を実行する前に、PANTONE カラーマネージャーのシリアル番号をご用意ください。アクティベーション方法により異なりますが、シリアル番号は色見本・CD の裏に記載、または E メールやウェブページから取得してください。

別のコンピュータの PANTONE カラーマネージャーをアクティベーションするには、現在のコンピュータで PANTONE カラーマネージャーを無効化する必要があります。

PANTONE カラーマネージャーを起動します。[はじめに] のスクリーンが表示されます。アプリケーションがすでに実行されている場合は、[PANTONE Color Manager – アクティベーション…] を選択して [はじめに] のスクリーンにアクセスします。[無効化] ボタンをクリックします。



無効化を確認します。カラーマネージャーのアプリケーションが終了し、ライセンスが削除されます。無効化を確認するメッセージが表示されます。[はい] をクリックします。

PANTONE カラーマネージャーを新しいコンピュータにインストールし、起動します。[はじめに] のスクリーンが表示されたら、[アクティベーション] ボタンをクリックしてください。ライセンス番号を入力し、[アクティベーション] をクリックします。PANTONE カラーマネージャーが起動し、使用可能になります。



## カラーマネージャーの基本ワークフロー

1. PANTONE 色見本またはパレットを選択してください。
  - PANTONE 色見本
  - ブリッジされた色見本 (ICC プロファイルを使用)

**注記：**カスタムおよび受信パレットはブリッジ用として保存できません。
2. プロファイルが選択されていない場合は、選択してください。ブリッジされた色がスクリーンに表示されます。
3. ブリッジされたパレットとして保存します。
4. パレットまたはブリッジされたパレットを次の用途に書き出します。
  - 皆様がお使いのクリエイティブアプリケーション

**アドバイス：**ICCプロファイルを使用する際、ブリッジされた色の値が PANTONE カラーブリッジガイドの CMYK や RGB 値と一致しないことがあります。これは、値が出力機器に対し最適化されている ICC プロファイルを使用するためです。

例えば、同じ CMYK 機器でも、大判インクジェットプリンタは従来のオフセット印刷機よりも多くの PANTONE カラーを再現することができます。最も予測可能な出力を得るには、必ずワークフローで使用されるプロファイルで色をブリッジしてください。

## パレットを扱うには

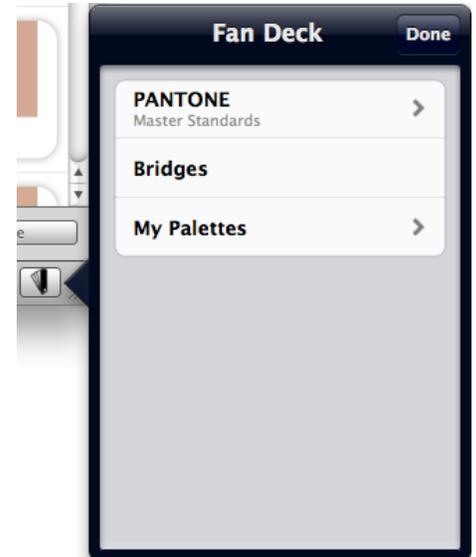
### パレットの選択

カラーマネージャーを起動すると、PANTONE プラス調色ガイドのソリッドコートのパレットが既定パレットとして開きます。これを使用しない場合は、右下から [色見本] アイコンをクリックし別の色見本を選択してください。

オプションは以下を含みます。

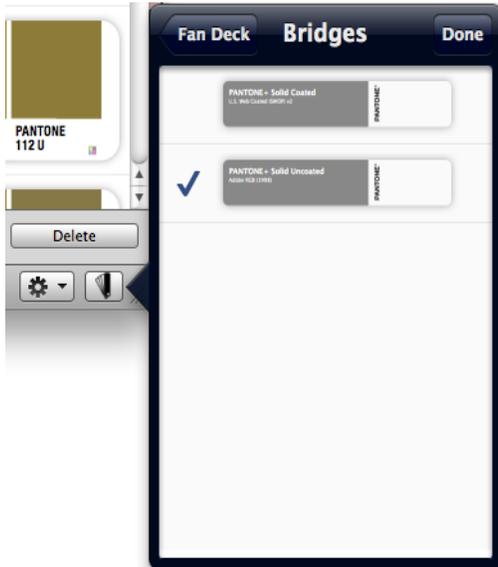
### PANTONE ガイド

- PANTONE プラス フォームラガイドソリッド コート (PANTONE PLUS Formula Guide Solid Coated)
- PANTONE プラス フォームラガイドソリッド 上質 (PANTONE PLUS Formula Guide Solid Uncoated)
- PANTONE プラス パステル&ネオン コート (PANTONE PLUS Pastels & Neons Coated)
- PANTONE プラス パステル&ネオン 上質 (PANTONE PLUS Pastels & Neons Uncoated)
- PANTONE プラス プレミアメタリック コート (PANTONE PLUS Premium Metallics Coated)
- PANTONE プラス カラーブリッジ コート (PANTONE PLUS Color Bridge Coated)
- PANTONE プラス カラーブリッジ上質 (PANTONE PLUS Color Bridge Uncoated)
- PANTONE ゴーガイド コート (PANTONE GoeGuide coated)
- PANTONE ゴーガイド 上質 (PANTONE GoeGuide uncoated)
- PANTONE ゴーブリッジコート (PANTONE Goe Bridge coated)
- PANTONE CMYK コート (PANTONE CMYK Coated)
- PANTONE CMYK 上質 (PANTONE CMYK Uncoated)
- PANTONE プラス ファッション + ホームペーパー (PANTONE PLUS Fashion + Home Paper)
- PANTONE プラス ファッション + ホーム ニューカラー ペーパー (PANTONE PLUS Fashion + Home New Colors Paper)
- PANTONE プラス ファッション + ホームペーパー コットン (PANTONE PLUS Fashion + Home Paper Cotton)
- PANTONE プラス ファッション + ホーム ニューカラー ペーパー コットン (PANTONE PLUS Fashion + Home New Colors Paper Cotton)
- PANTONE プラス ファッション + ホーム ナイロン ブライト (PANTONE PLUS Fashion + Home Nylon Brights)
- PANTONE スキントーン ガイド (PANTONE Skintone™ Guide)



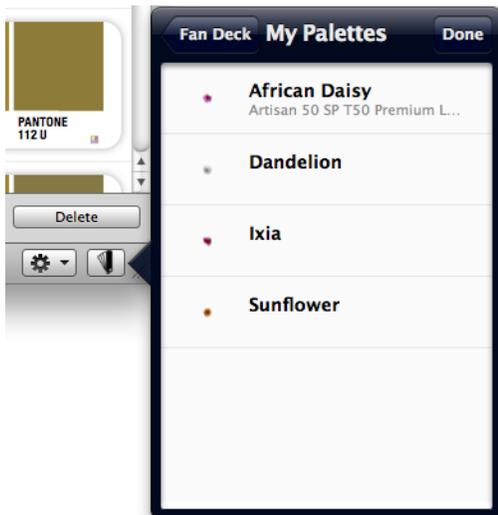
## ブリッジされた色見本

作成されたカスタムブリッジ（ICC プロファイルを使用する PANTONE 色見本）はここに表示されます。例えば、上質およびコート紙の専用ブリッジでは、それぞれの用紙において色を正確に判断できるように表示されます。



## マイパレット

カラーマネージャーで作成したパレットのリストです。



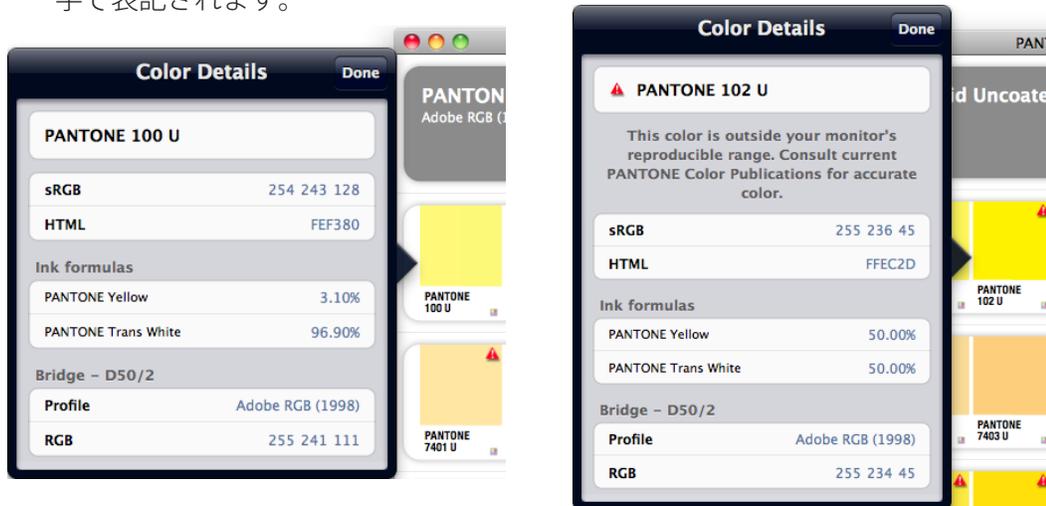
## パレットの表示

カラーマネージャーで PANTONE ガイドを開くと、現物カラーガイドに表示される通りにカラーパッチがスクリーンに表示されます。照明条件を選択してカラーを表示、ICCプロファイルを使用してブリッジされたカラーを表示したりおよびガモット警告を表示するようカスタム設定したりすることが可能です。詳しくは「カラーマネージャーの設定」をご覧ください。

## カラー詳細を表示

各色の詳細を表示するには、そのカラーパッチをクリックしてください。次の情報と共に [色の詳細] ボックスが表示されます。

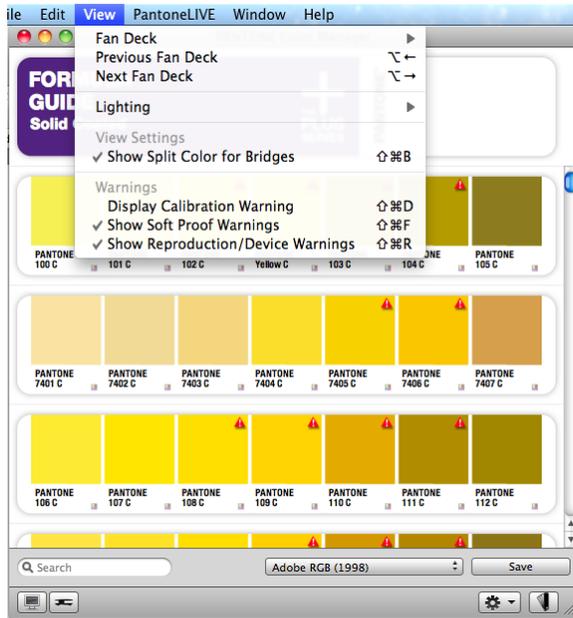
- ・ カラー名
- ・ カラーの sRGB 値
- ・ カラーの HTML 値
- ・ カラーを再現する PANTONE インキ調色配合
- ・ ICC プロファイル
- ・ 選択された照明条件
- ・ 選択されたプロファイルに基づく表色値
- ・  $\Delta E$  範囲として許容されない、またはかなりの色差がある場合は、赤の文字で表記されます。



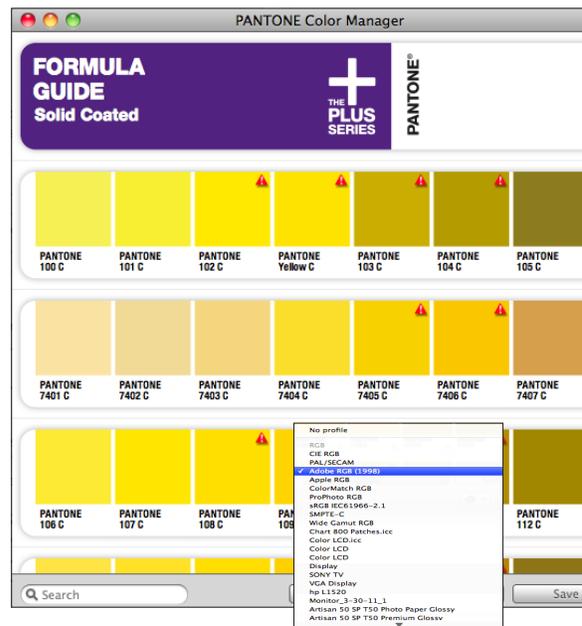
**アドバイス：**  $\Delta E$  の詳細は、エックスライト社の[カラーガイドと用語解説](#)をご覧ください。

## パレットのブリッジ

カラーマネージャーで ICC プロファイルを選択すると、選択されたパレットのスポットカラーはそのプロファイルで再現されるように表示されます。ブリッジされた色をオリジナルの PANTONE カラーと視覚的に比較する場合は、[設定] メニューの [ブリッジのスプリットカラーを表示] をチェックしてください。



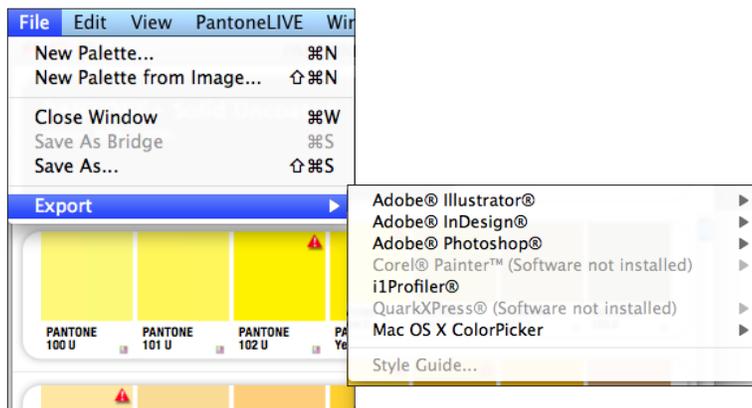
プロファイルを選択するには、ドロップダウンメニューから [プロファイル] をクリックしてください。システムにロードされている全ての ICC プロファイルが表示されます。使用したいプロファイルを選択します。PANTONE スポットカラーの色が、選択された出力機器に再現される色にブリッジされます。



### パレットをアプリケーションに書き出すには

選択されたプロファイルを使用してカラーブリッジを作成した後、これらの色をクリエイティブ用アプリケーションに書き出すことが可能です。

[ファイル -> 書き出し] を選択します。アプリケーションがリスト表記されます。（グレー表示のアプリケーションはシステムにロードされていないか、現在の色見本の選択に使用できません。）



リストからアプリケーションを選択すると、カラーマネージャーの新規パレットが選択したアプリケーションに転送されます。アプリケーションを起動すると、スワッチライブラリとしてカスタムパレットを選択することができます。

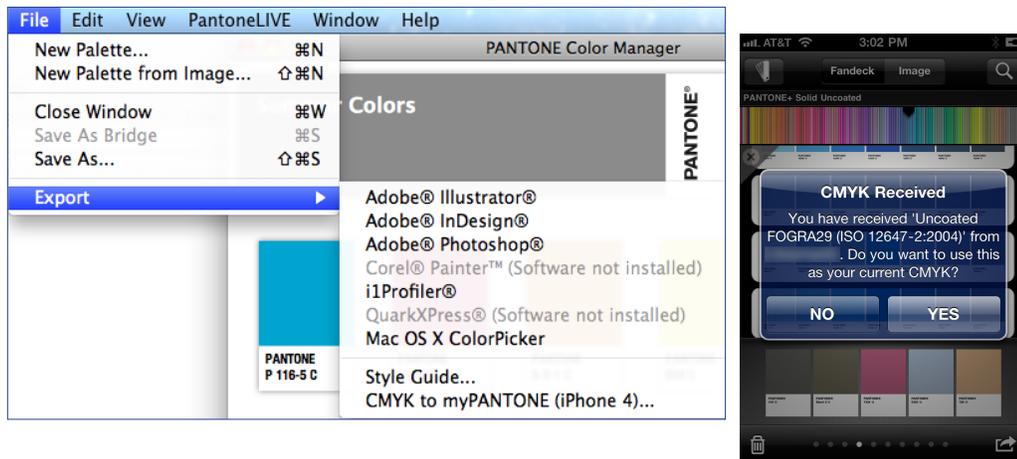
このメニューから次を実行することができます。

- OS のカラーピッカーを使用して、Word や PowerPoint を対象とする PANTONE カラーを設定。
- CxF3 ファイルを ColorMunki や i1Profiler などのアプリケーションに保存。（CxF3 の詳細は、<http://colorexchangeformat.com>をご覧ください。）
- スタイルガイドを書き出してカラー仕様を簡単に定義
- CMYK 値を myPANTONE 2.0 に書き出す。

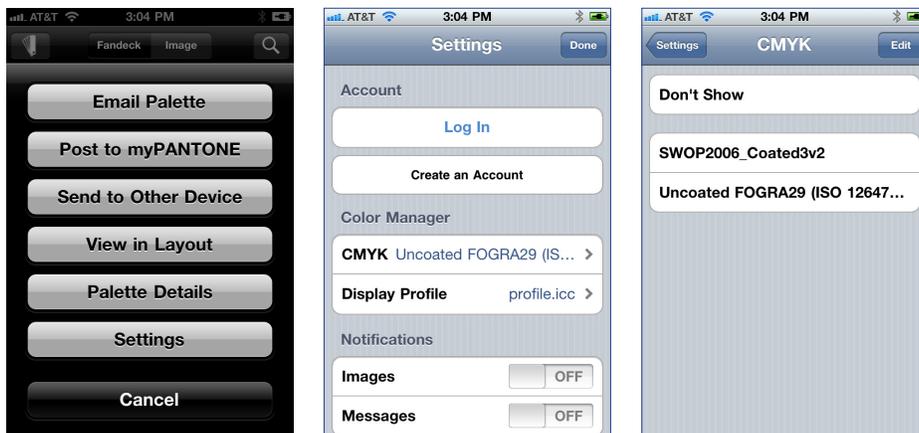
## CMYK を myPANTONE 2.0 に書き出す

iPhone がコンピュータと同じネットワークにあり、myPANTONE 2.0 アプリケーションが起動していることを確認してください。

[ファイル] -> [書き出し] から、[CMYK を myPANTONE] を選択します。



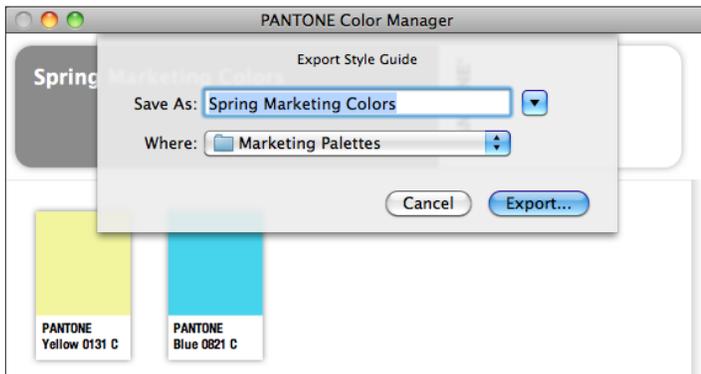
myPANTONE アプリケーションのメニューから [設定] を選択します。カラーマネージャーの下に CMYK が表示されます。必要に応じて、右向き矢印をクリックし CMYK 空間に切り替えます。



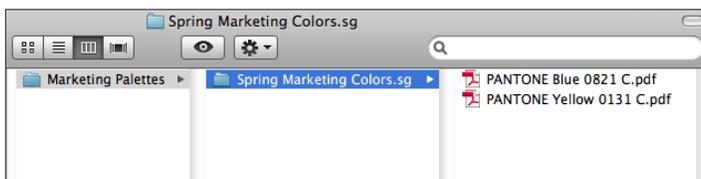
### スタイルガイドに書き出し

スタイルガイドでは、ユーザーや画像パレットで選択されたカラーの詳細な仕様が記述された PDF を書き出すことが可能です。また、特定の装置用のプロファイルにブリッジすることで、スタイルガイドは、プロファイルから装置でその色をシミュレートするための CMYK 値を生成し表示します。これらの PDF は、デザインファイルにドロップし他のユーザーと共有することができます。

[ファイル] -> [書き出し] -> [スタイルガイド] を選択します。[名前を付けて保存] ボックスにディレクトリー名を入力します。スタイルガイドのPDFは、このフォルダに保存されません。指定先を選択し、[OK] をクリックします。



アプリケーションは、1色につき1つのPDFを新規作成されたフォルダに書き出します。

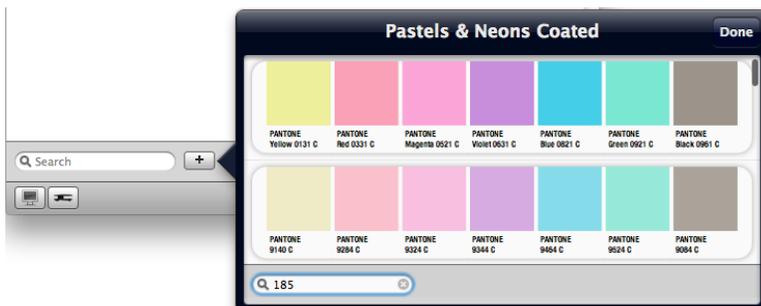


## 色の検索

色を検索する際は、検索フィールドに色番号を入力します。その番号をもつ色見本内の全ての色が表示されます。例えば、ソリッドコートフォーミュラガイドで「185」を検索すると、PANTONE 185 U および PANTONE 5185 U が出力されます。



既存のパレット色をフィルタ処理する他に、ユーザーパレットの「+」ボタン内からフィルタ処理を実行することもできます。

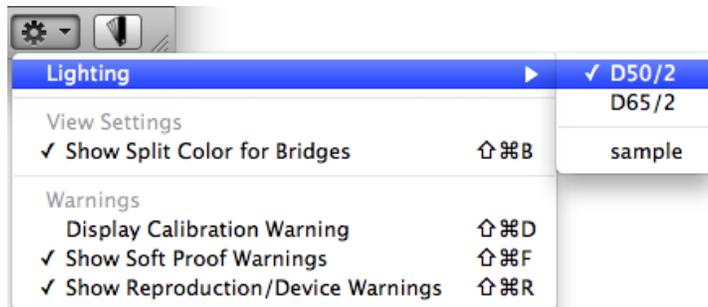


## カラーマネージャーの設定

各ワークフローのニーズに対応するよう、カラーマネージャーをカスタム設定することができます。

### 照明条件を選択

カラーマネージャーでは、証明条件をD50/2 および D65/10 の、2つの既定の照明オプションから選択することが可能です。ウィンドウ右下の [設定] アイコンの [照明] から再現する照明条件を選択します。選択されたオプションの横にチェックマークが表示されます。

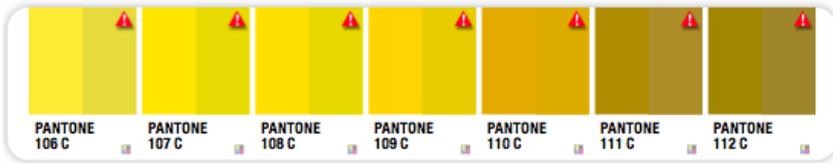


これらの設定は何を意味するのでしょうか？D50 は色温度約 5000° K の意味で、北半球のほとんどの午前光に一致し、グラフィック業界の標準観察条件となっています。D65 は色温度約 6500° K を意味し、正午の照明に近い照明です。2 および 10° は、人の色の視覚評価方法に関連した標準観測者の視野角を意味します。

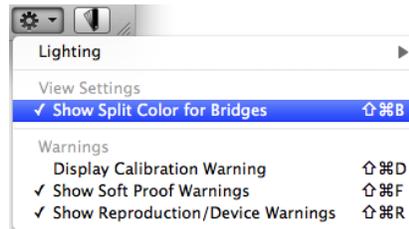
**アドバイス：** i1 プロファイラーでカスタム照明を作成した場合、カラーマネージャーはこの情報をドロップダウンメニューに自動的にロードします。

## ブリッジのスプリットカラーを表示

[ブリッジのスプリットカラーを表示] を選択すると、オリジナル（スポット）カラーは左に、プロセス（CMYK印刷）再現されたカラーは右に、視覚的な比較として表示されます。

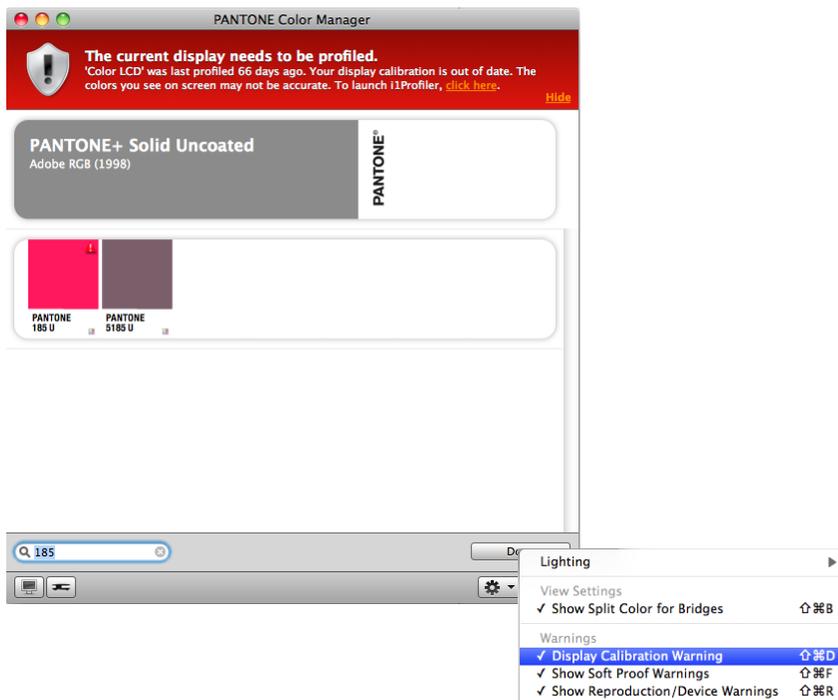


スプリットカラーをON・OFFに切り替えるには、スクリーン右下の[設定]アイコンから[ブリッジのスプリットカラーを表示]を選択してください。このオプションがONになればチェックマークが付きます。



## 警告

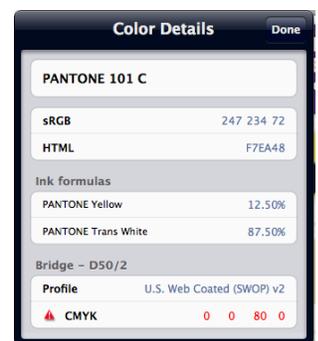
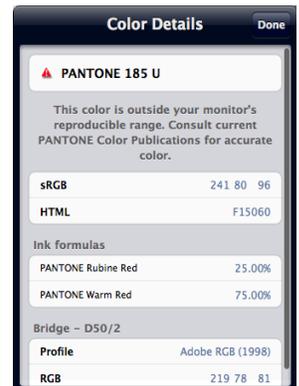
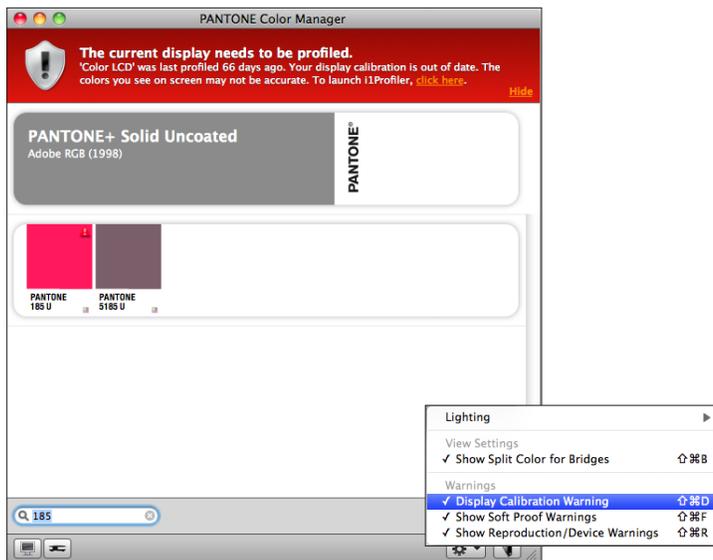
カラーマネージャーはカラーを確実に再現するために、いくつかの通知を表示します。カラーマネージャーアプリケーションのウィンドウ上部に赤の警告バーが表示された場合、この30日間にモニタのキャリブレーションが行われていないことを表し、スクリーン色が正確に表示されていない恐れがあります。この警告表示をOFFにするには、[設定]->[ディスプレイ警告を表示]を選択してください。



カラスワッチに赤の三角形の警告が表示された場合、ダブルクリックして詳細をお読みください。

- [この色はスクリーンに正しく表示されない可能性があります。] は、スポットカラーの警告を表し、モニタに表示される色が正確でない場合があります。
  - **アドバイス：**スポットカラーの警告が表示された場合は必ず PANTONE 色見本を参照し、選択色を視覚的に確認してください。
- 機器のカラー計算に、赤の三角形の警告と共に赤の文字が表示された場合、この色は機器用に選択されたプロフィールで正しく再現されないことがあります。

三角形の警告を OFF にするには、[設定] ドロップダウンから [ソフトプルーフの警告を表示] および [再現色/装置の警告を表示] を選択します。この設定が ONになればチェックマークが付きます。



## ディスプレイ情報を表示するには

キャリブレーションが実施され、プロファイルが作成されたディスプレイは、正確な色判断に大変重要です。ディスプレイのカラー特性に関する正確なカラー情報がデザインアプリケーションにないと、出力を正しく予想できません。プロ仕様のディスプレイキャリブレーションの詳細は <http://www.pantone.com/products/profiling> をご覧ください。

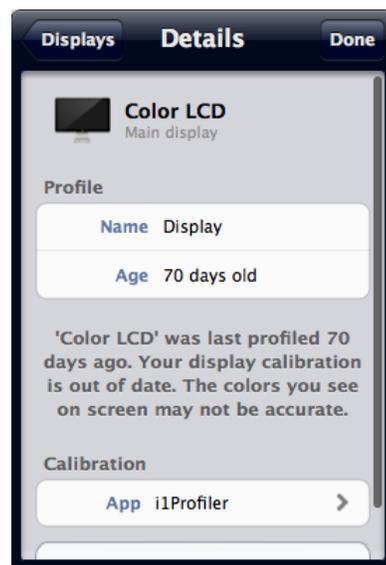
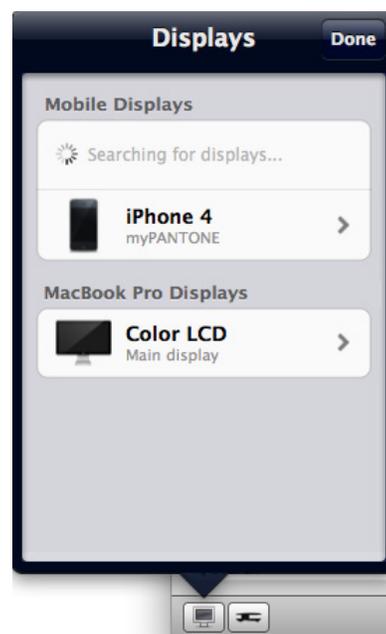
現在のモニタプロファイル名および日付を見るには、ウィンドウ左下の [モニタ] アイコンをクリックしてください。ディスプレイを選択します。現在のプロファイル名および作成日が表示されます。

## ディスプレイのプロファイル作成

PANTONE カラーマネージャーは、接続されているディスプレイをチェックし、期限切れのディスプレイに対し、キャリブレーションおよびプロファイルを作成するプログラムを起動します。なお、iOS 装置のプロファイルは、対象となるアプリケーションソフトで PANTONE カラーを表示する際にのみ使用されます。画像やユーザーインターフェースには有効になりません。

左下から、[ディスプレイ] アイコンをクリックします。同じネットワーク上に接続されているモバイル装置で、myPANTONE アプリケーションが実装されているものは全て上部に表示されます。接続されているディスプレイは全て下部に表示されます。ディスプレイをクリックすると、プロファイルおよびキャリブレーションの詳細情報が表示されます。また、プロファイル作成用アプリケーションがインストールされている場合は、そのアプリケーションを起動するオプションも表示されます。

選択したアプリケーションソフトが起動され、ディスプレイのキャリブレーションおよびプロファイル作成が可能になります。選択したアプリケーションソフトは既定のプロファイル作成用アプリケーションソフトとなりますが、これはいつでも変更することができます。画面に表示される指示に従って、装置のプロファイルを作成してください。



## iPhone® のキャリブレーション

カラーマネージャーから iPhone® および iPod® Touch® 表示のキャリブレーションおよびプロファイリングを行うことが可能です。モバイルでバイスをコンピュータに接続すると、[携帯ディスプレイ]の下に表示されます。

iPhone® のキャリブレーションを簡単に実施できます。ColorMunki、i1Pro、i1Display 2 およびmyPANTONE 2.0 iPhone アプリケーションのインストールされたモバイルデバイスをコンピュータに接続します。カラーマネージャーがモバイルデバイスを検出したら、iPhone から myPANTONE 2.0 アプリケーションを起動します。モバイルに表示される指示に従って iPhone® 画面に表示される色を測定してプロファイルを作成します。作成されたプロファイルがカラーマネージャーのこのオプションの下に表示され、より正確な色が myPANTONE アプリケーションに表示されるようになります。

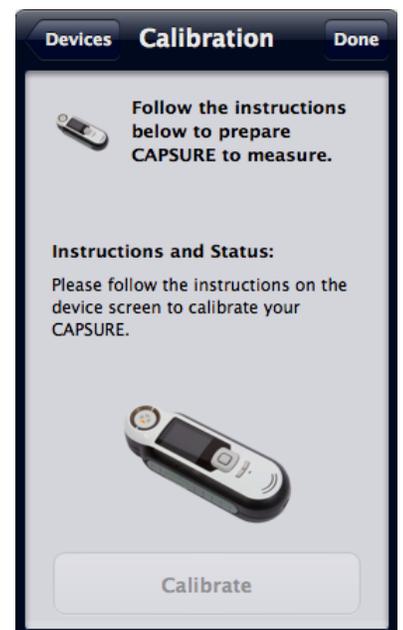
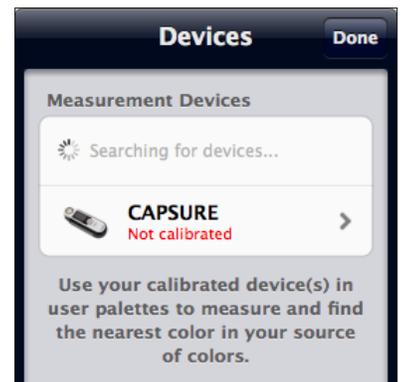
## 測色計

接続されている装置が [測色計] アイコンにより認識され、キャリブレーションの状態および装置のキャリブレーション手順が表示されます。

装置をクリックし、キャリブレーション手順を実行します。ColorMunki で測定する準備を行うには、装置を必ず正しい位置に戻してください。画面に表示される指示に従ってください。

## 測定条件

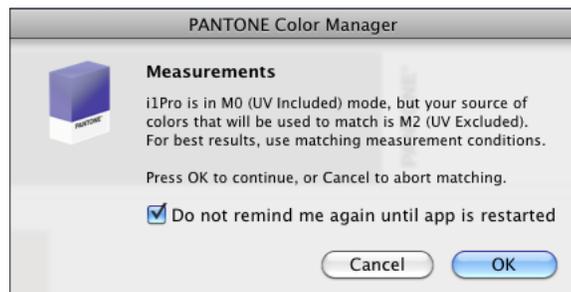
多くの印刷用紙は、最終印刷物の輝度を高め、白色度を改善するために蛍光増白剤（OBA）を含んでいます。増白剤はカラーマネージメントに課題を残すため、カラーの測定および判断する際に考慮する必要があります。例えば、UV カットの装置で測定を行い、UV カットでない色見本と併用する場合、測定値は色見本の色と互換性がありません。この場合、装置アイコンに警告バッジが表示されます。



測定条件が正しくない場合、測定時にUV込み vs. 除去のメッセージが表示される場合があります。

新しい測定基準の M シリーズは、これらの UV 条件に対応するために開発されました。今日の増白剤が使用された用紙は、測定時のイルミナント基準または「M」スタンダードを指定することで増白剤が測定データにどのように影響するかに関する情報を提供すると共に照明のコミュニケーションをお手伝いします。以下に、測定イルミナント基準の使用時を説明しています。

- MO：基材（用紙）や着色材が蛍光発光しない場合に使用します。
- M1、パート1：基材（用紙）のみ、イメージングの着色材のみ、またはその両方が蛍光発光する場合に使用します。
- M1、パート2：基材（用紙）が蛍光発光し、蛍光特性を測定する必要がある、さらに色材が蛍光発光しないことが確認されている場合に使用します。確かでない場合は、インキメーカーにご相談ください。
- M2：用紙が蛍光発光し、測定データからその蛍光を除去したい場合に使用します。
- M3：最初の表面反射を最小限に抑えるために偏光フィルタの使用を含む特別な場合に使用します。



	M0	M1 <sub>1</sub>	M1 <sub>2</sub>	M2	M3
Measure effect of OBAs		✓	✓		
Measure ink fluorescence		✓			
Measure non-OBA stock	✓	✓	✓	✓	
Cut the effect of OBAs				✓	✓
Cut first surface reflections					✓
Agree on M standard for use in exchanging data prior to measurement	When using any M standard to exchange data, it is essential to agree on a particular M standard before measuring data.				

アドバイス：詳細は、「M ファクターの解説」をダウンロードしてください。  
[http://www.xrite.com/documents/literature/ja/L7-510\\_M\\_Factor\\_ja.pdf](http://www.xrite.com/documents/literature/ja/L7-510_M_Factor_ja.pdf)

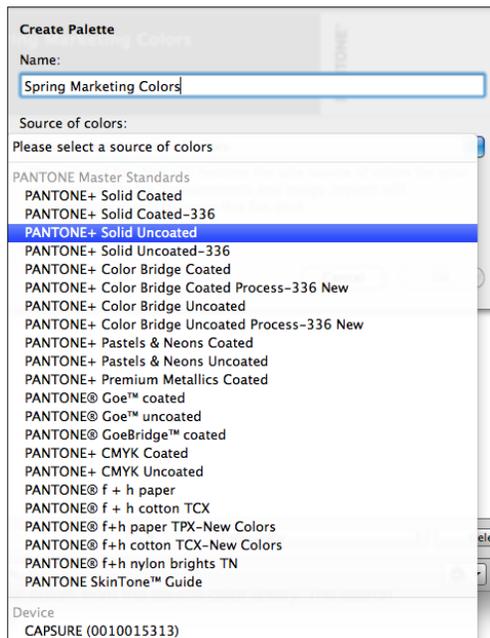
## パレットの作成

カスタムパレットを作成する際は、PANTONE パレットを使用、ICC プロファイルを選択してカラーブリッジを実行、またはアプリケーションへ書き出すことができます。

## 新規パレットの作成

カラーマネージャーでは、カラーソースからカラーパレットを作成することが可能です。

[ファイル] -> [新規パレット] を選択します。パレットに名前を付けてください。ドロップダウンメニューからカラーソースを選択します。CAPSURE 装置を Mac 上で使用する場合は、装置をカラーソースとして使用することもできます。[OK] をクリックします。



「+」アイコンをクリックし、カラーライブラリから新規色を選択してください。検索ボックスを使用すると便利です。[終了] をクリックします。

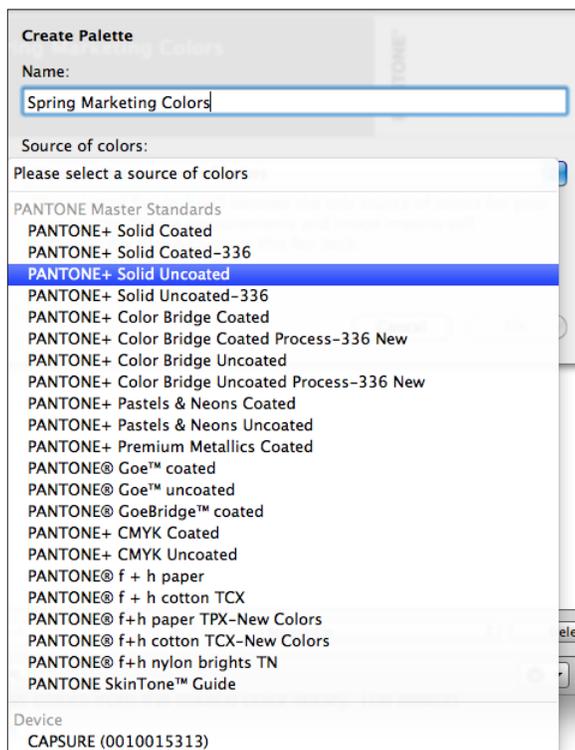
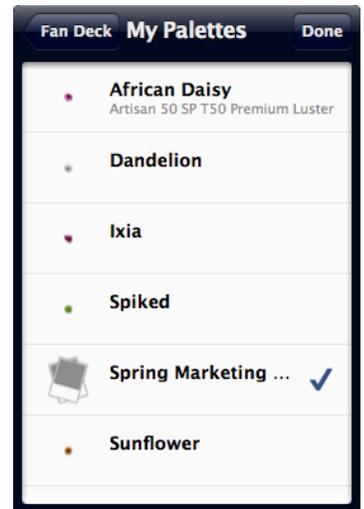
パレットヘッダーの画像をクリックし写真からさらなる色を抽出し、「+」ボタンをクリックしてカラーを追加することができます。カスタムパレットは写真アイコンと共に [マイパレット] の下に表示され、通常のパレットと同様に使用できます。

## 画像から新規パレットを作成

カラーマネージャーでは、画像を読み込み、選択されたソースパレットから最も近似する画像色でカスタムカラーパレットを作成することが可能です。

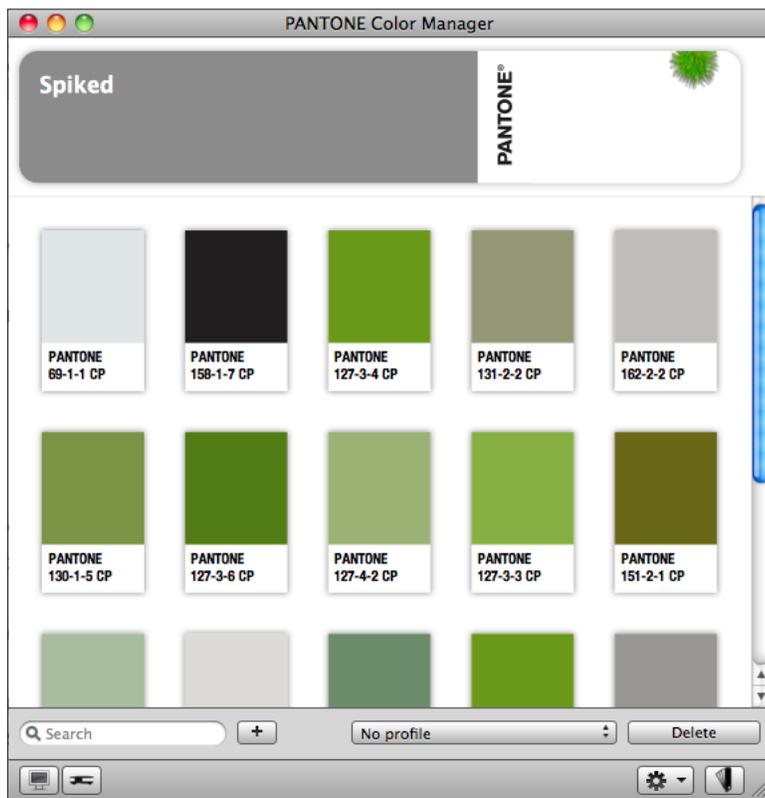
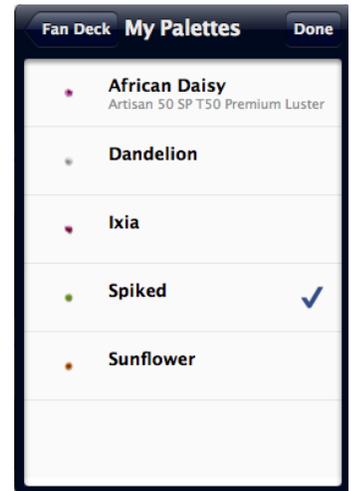
[ファイル] -> [画像からの新規パレット] を選択します。画像を参照および選択し、[開く] をクリックします。

パレットに名前を付けてください。ドロップダウンメニューからカラーソースを選択します。CAPSURE 装置を Mac 上で使用する場合は、装置をカラーソースとして使用することもできます。[OK] をクリックします。



PCM は、カラーソースにも表示される画像から主要色を抽出します。[終了] をクリックします。カスタムパレットは[マイパレット]の下に表示され、通常のパレットと同様に使用できます。

画像パレットバナーをクリックすると、画像全体が表示されます。カーソルを使用して、ここからパレットに色をドラッグ&ドロップし、画像からさらなる色を抽出します。



## 測定器で色を追加するには

i1Pro や ColorMunki Design などの測色器を使用して実際のサンプルを測定し、最も近い PANTONE カラーを検索してパレットに含めることも可能です。

## CAPSURE装置を使用して色を追加



Mac 対象の機能

Mac を使用する場合は、CAPSURE 装置を使用してカスタムパレットに1つまたは複数の色を測定することができます。CAPSURE でオフライン測定を行った測定値も追加することが可能です。CAPSURE で測定した色は、PANTONE カラーマネージャーのスイッチと同様に使用することができます。PANTONE カラーマネージャーを実行する際に CAPSURE Sync は必要ありませんが、新しい色見本を追加する場合は必要となります。

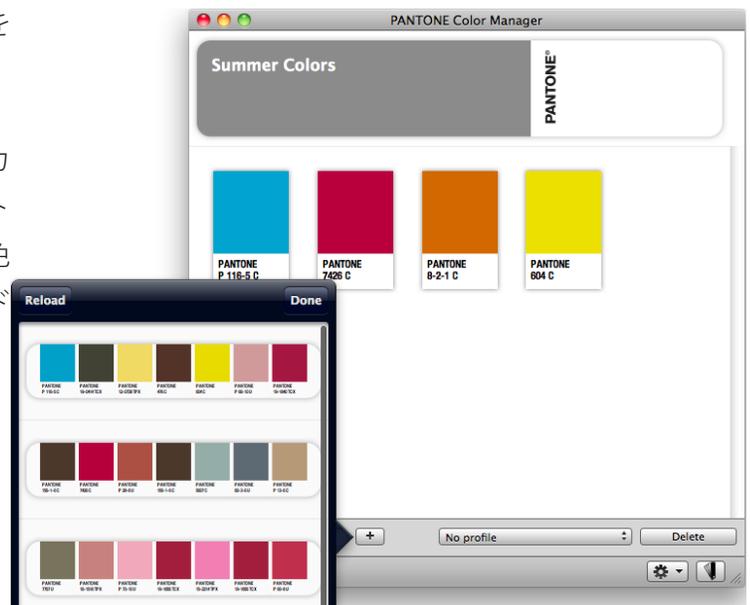
注記：

- カラースワッチはカスタムパレットにのみ追加することができます。（PANTONE パレットには追加できません）
- CAPSURE 装置にPANTONE 未対応の色見本がある場合、PANTONE 未対応の色見本と一致する測定値はカラーマネージャーに表示されません。
- Capsure の測定色を PANTONE カラーマネージャーで使用するには、カラーマネージャーのライブラリにその色が存在しなければなりません。

## カスタムパレットに対する測色

CAPSURE 装置を使用して、カスタムパレットに色を測定することができます。

パレットに追加するカラーを測定してください。カラーソースとなる CAPSURE 装置で、新規パレットを作成します。「+」ボタンをクリックします。色がロードされたら、追加する色を新規パレットにドラッグしてください。



## 複数色のサンプルをカスタムパレットに測定

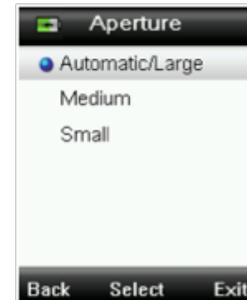
CAPSURE 装置を使用して、カスタムパレットに複数色のサンプルを測定することができます。

新規パレットまたは既存のカスタムパレットを選択してください。CAPSURE のアパーチャーが **[自動/大]** に設定されていることを確認してください。これによって、測定範囲に1つ以上の色がある場合に機器が自動的に判断することができます。

測定する複数色のサンプル上に CAPSURE 装置をセットし、**[測定]** ボタンを押します。CAPSURE パレットには平均測定値のみが表示され、カラーマネージャーのパレットに平均およびそれぞれの測定値が表示されます。

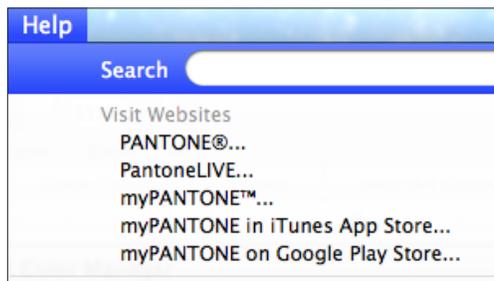
[マッチ機能] ウィンドウに表示される最初の色は、測定範囲全体の平均色です。CAPSURE が1つ以上の色を検出した場合、機能バーにあるカラーピッカーのアイコンが回転し、音が聞こえます。画面は自動的に [カラーピッカー] 機能に進みます。ここで個別の色を選択することができます。選択された色は○でハイライト表示されます。操作の上下ボタンを使用し、色間を移動します。色の説明は下記に表示されます。

装置の Enter を押し希望色を選択します。全ての色が現在のパレットに読み込まれます。



## ヘルプ、モバイルアプリケーション、PANTONEにアクセスするには

PANTONE カラーマネージャーのヘルプメニューから、PANTONE ウェブサイト、PantoneLIVE、myPANTONE、myPANTONE™ iPhone® アプリケーション、iTunes® App Store、Google® Play にアクセスすることができます。



myPANTONE™ の詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.pantone.com/pages/MYP\\_myPantone/mypantone.aspx](http://www.pantone.com/pages/MYP_myPantone/mypantone.aspx)

ここで表示される PANTONE® 色は、PANTONE で認識される標準色と一致しない場合があります。正確な色を取得するには、最新の PANTONE 色見本帳をご参照ください。

Pantone は、PANTONE カラーマネージャーとの併用のみにライセンスされたカラーデータおよび/またはソフトウェアの所有者です。PANTONE カラーデータおよび/またはソフトウェアは、PANTONE カラーマネージャーを実行する一部出ない限り、別のディスクやメモリにコピーすることはできません。

PANTONE®, myPANTONE™ およびその他の商標は Pantone LLC の登録商標です。Adobe、Creative Suite、Illustrator、Photoshop は Adobe Systems Incorporated により米国または他国で登録された商標です。Macintosh、iPhone、iPod Touch は Apple Computer, Inc. の商標です。QuarkXPress は Quark, Inc. および同社の子会社により米国または他国で登録された商標です。Corel は Corel 社または同社の子会社によりカナダ、米国、その他の国で登録された商標です。Windows は Microsoft Corporation により米国または他国で登録された登録商標です。その他の名称は、各社の商標および登録商標です。いずれの製品の商標が表記されていない場合、商標の侵害となりません。Pantone LLC は、X-Rite, Incorporated の子会社です。© Pantone LLC, 2013。 .